



母校なう



同窓会の節目にあたって

前同窓会長 鈴木明憲 (2期生)



今年度は、同窓会活動の節目の年です。私も同窓会活動には20年有余お手伝いさせていただき、直近2期6年は会長として活動させていただきました。そこで、この節目において役員を退任させていただき次の世代に活動の中心をお任せしたいと考えています。

この同窓会活動は、「母校のために！」との一念で役員皆が手弁当で仕事の合間に活動を行っています。しかしながらなかなか役員を引き受け手が少なく苦慮しているところがあります。どうか、会員の皆さんはお時間が取れましたらぜひとも母校を訪問いただき更には同窓会へもお声をおかけください。次期役員の皆様のご活躍に期待いたします。

ぜひ！会員の皆様のご協力を！

新同窓会長 高橋勇次 (8期生)



このたび、前会長ならびに役員の方々のご推挙により会長を引き受けさせていただきます。私もここ10年ほど母校にお邪魔し、同窓会活動をお手伝いさせていただいています。前会長が申されましたとおり役員はボランティアでの活動で負担も多く皆で手分けして活動がやっと続けられています。そこで今回は少しでも個人への負担を軽減するため、会長代行の創設や事務局体制の充実を図ることにいたしました。同窓会の目的は「会員相互の交流」と「母校の発展」であります。私はこのために「現役生徒諸君への支援」と会員相互交流を目的とした「部会(支部)活動の充実」を推進したいと考えています。皆様も同窓会活動の一端をご覧いただき、ぜひとも同窓会活動への参加・参画を切にお願い申し上げます。

願う！東海学園と母校の発展

会長代行 竹原義嗣 (8期生)



新しく創設された会長代行に就任させていただきます。私の役割は、同窓会活動が円滑に進むように会長のサポートと対外的な渉外であります。

特に、東海学園内の付属高校が集まり北は札幌、南は熊本まで現在10校が集い「連合同窓会」を結成しています。東海学園の支援と同窓会相互の交流が主な活動。この組織は50年に及ぶ歴史を持ち日本有数の学園ならではの誇れる同窓会活動だと自負しています。これを私が担任します。

この度、この大役をお引き受けいたしますが新旧会長が申しましたとおり同窓会活動にお手伝いいただく方が少なく苦慮しています。皆様も高校時代の青春を思い起こしていただき、その想いを母校及び同窓会への更なるご支援をお願い申し上げます。8期生コンビで頑張ります。

～お知らせ～ WEB 総会 の開催について

本年度は、3年に一度の総会開催の節目時期であります。3年前はコロナ禍により会員が一堂に会することができませんでした。ただ、それ以前も総会への出席者が極端に少なく役員一同困り果てています。お仕事を始め個々の生活の多忙さ、更には遠距離にお住まいなど種々の原因があることだと推察しています。

そこで役員一同で検討を重ねた結果、会員に同窓会の活動内容や予算状況、学校の現況などを伝えることが大切との結論に達し、3年前に実施したホームページ(以下HPと記述)に情報載せて会員に広く周知し、意見を聴く「WEB総会」を開催することにしました。

また、現在の卒業生の累計(同窓会員数)は21,000人を超え、所在のわかっている方が14,000人となっています。これまでどおり総会の案内と会報をお届けすると郵送料や印刷代、封入代等の経費も高騰しており、200万円以上の経費が必要となり会計上厳しい状況となっています。ちなみに運営費は皆さんの卒業時に頂戴した終身会費(現在1万円)となっており、毎年の卒業生約300人強であります。

今回は、会員に情報をきちんとお届けする目的を第一義としてハガキによる会員への周知を行い各自にてHPの特設コーナーをご覧いただきたいと思います。更には一定期間を設けHP内からのメールコーナーから皆さんからの意見やご要望をお伺いしようとする「意見公募(パブリックコメント方式)型」の新しい取り組みを行います。また、この効果がどのくらいなのか併せて検証します。

なお、いただいたご意見については役員で協議・確認し貴重なご意見については改めてHP内にアップ(回答)させていただきます。

◆意見公募期間:6月6日～6月30日

◆閲覧方法:

*お届けしたハガキのQRコードからスマホ等でアクセス

*HP特設コーナーから【ネットから「東海福岡同窓会」検索】

[注意事項]意見は同窓会、役員及び学校、教職員等への誹謗中傷等は受付しません。

同窓会の主な活動について報告

～会員相互の交流と母校の発展をめざして～

《予算・決算の状況について》

同窓会予算は、卒業時に終身会費（現在1万円）として納入されます。毎年の卒業生約（300人強）からの入会金を基にこれまでの予算の積立金を併せて活動費が賄われています。

主な用途は、卒業生への卒業記念品や部活動の全国大会出場時の奨励金及び学校支援事業として備品の寄付などがあります。

また、同窓生には卒業32年後に実施される「アルムナイ・ホームカミングデイ」の開催支援、東海学園全体の高校同窓会（現在10校）で組織する「連合同窓会」の経費などに充てられています。加えて管理費としては、事務局の事務用品、交通費等の総務経費と卒業生2万2千人（居所確認者：約1万4千人）のデータ管理とHP管理・更新など秘密を保持できる専門業者に委託管理するなどにも経費に充てられます。

現在の予算は、普通会計で600万円（繰越金300万円＋新規入会金300万円）ですが、大規模行事の年はそれに併せて少しずつ繰越金を増やし予算増額します（今年度は総経費計上）。また、特別会計（現在約600万円）も普通会計の残予算から拠出し積み立てを行っています。これは、同窓会の節目行事やクラブ活動の全国大会出場など急を要するなど特別な催し時に役員の議決を得て普通会計に戻入して使用します。

※詳しくは、HP内「同窓会について」コーナーの「事業・予算・決算資料」内をご覧ください。



学校に寄付した野外テーブル生徒諸君の体験活動に使用中

《同窓会の行事について》

同窓会の主な行事は、入卒業式や体育祭などの学校行事への役員の出席や会員の50歳の節目に開催する「アルムナイ・ホームカミングデイ」、東海学園に関連する校友会、大学の福岡県支部行事への参加があります。特に学園内の付属高校同窓会10校が集合する「連合同窓会」なども日本有数の学園ならではの行事です。また、新入会員つまり卒業生には卒業式の前日頃に「同窓会入会式」を開催し、入会の意識づけや手続き方法など説明しています。

〔主な行事〕

春：入学式、第1回役員会、監査

夏：連合同窓会会長会議、TOKAIユリの会（夏）*

秋：高等学校連合同窓会総会兼役員研修会、校友会県支部交流会、大学県支部懇談会、アルムナイ・ホームカミングデイ、体育祭、文化祭

冬：校友会九州支部懇談会、TOKAIユリの会（冬）、学校と役員の懇談会、卒業式及び新規入会者入会式

〔通年行事〕幹事会（簡素化のためのLINE会議含む）、理事会、部会（支部）会議への役員出席、アルムナイ・ホームカミングデイ実行委員会

*TOKAIユリの会（会長花田聡子氏）は、学校内で活動する保護者会、教員、教員OB会などの方々と年2回開催する交流会です。同窓会からも積極的な支援をしています。ちなみに上記写真の野外テーブルも活用し会場は上記写真のココ。



今年の入会式。366人が入会（卒業）。併せて卒業生からひとりが選ばれ「会長賞」が賞状と記念品を添えて授与される。

《ご存じですか？アルムナイ・ホームカミングデイ》

よく「なにそれ？」と聞きます…皆さんの卒業時に必ず学校や同窓会から説明していますがたぶんお忘れと思います。卒業32年後の50歳の節目に学び舎の母校に里帰りして同窓生や先生方と再開する大規模学年同窓会の行事です。

この行事は、その年の初めに同級生から選出された方で実行委員会を発足させ、同窓会がお預かりした皆さんの名簿データを基に呼びかけを行いにぎやかに開催するものです。

参加者は、卒業時の18歳の面影はあるものの貴族のついた顔や身体をお互いに指さし合い、懐かしがり、皆が青春時代を取り戻した様子が伺えます。

同窓会からは、名簿の開示・提供をはじめ実行委員会への助言や予算的な一部支援を行っています。また、現役生徒諸君も会場準備やプラスバンド出演などお手伝いをしてきています。

なお、会員名簿は住所や氏名などはっきりしない方が多数いらっしゃいます。同窓会HPから手続きができますのでぜひとも変更手続きをお願いします。



アルムナイ・ホームカミングデイの様子。懐かしい恩師をゲストにお迎えし、毎年プラスバンドやチアリーディング部が華を添えてくれます。会場設営は、体育部関係の生徒諸君がお手伝い。同窓会役員も全員参加で応援しています。

《新しい役員を紹介》

26年度は3年に一度の役員改選の年。新しい役員を紹介。なお、体制強化のため会長代行役の創設や事務局員の増員を行っています。 ※○数字は卒業回

会長：高橋勇次⑧、会長代行：竹原義嗣⑧、副会長：豊福義文⑧、上野春男⑭、事務局長：花田聡子⑳、事務局次長：西 弘文⑫、樋口歳成⑱、会計：新 清美⑬
〔以上幹事会メンバー〕

理事：瀧口秀人⑨、梅田泰睦⑩、本田一郎⑬、松崎修二⑮、川地 毅⑰

監査：谷口敏文③、西村正巳（学校推薦・教員）
顧問：津山憲司（校長・当て職）、鈴木明憲（前会長）②、岩尾久志（前副会長）③

※理事定数は20名随時募集しています
※任期は2026年4月～2029年3月末

「第48回東海大学高等学校連合同窓会」が母校で開催

学園内高校同窓会10校で組織する「連合同窓会総会（事務局は浦安高校同窓会）」が2025年11月22日～23日に本会をホストとして開催されました。北は札幌、南は熊本皇翔の同窓会役員が58名参加しました。母校コモンホールで総会が開催され、世界遺産宗像大社参拝や博多総鎮守櫛田神社などを案内。玄海の海の幸でおもてなしをして更なる交流を深めました。

（下段写真は連合総会の様子）



《同窓会名簿等個人情報の取り扱いについて》

◆【データ登録について】同窓会員名簿は、卒業時にお一人ずつ連絡先を記入いただき登録をしています。情報管理は同窓会が委託した専門の業者（大阪市・株式会社プリンティングサービス）が責任を持って管理しています。

現在卒業生は2万2千人を超えていますが、その4割が所在不明です。一旦通信が途切れるとなかなか連絡が取れません…。HP トップページ内の住所変更連絡欄からメールにて住所・氏名の変更が可能です。なお、登録変更にはご本人の承諾が必要です。

◆【データ開示について】同窓会の企画などで、名簿情報の提供（開示）のご連絡をいただきます。この情報は個人情報保護法に基づき同窓会行事以外は非公開。また、役員も勝手に覗くことも許されていません。

ただし、同窓会の行事で役員会の決定を受けた案件については提供を行う場合もあります。学年同窓会や還暦同窓会など計画する場合はお問い合わせください。連絡はHPのお問い合わせ欄から可能です。ただし、業者⇒役員⇒役員会協議など時間を要しますので3か月～半年程度余裕を持って連絡をお願いします。（情報開示に伴う経費は主催者負担となります）

ごあいさつ

東海大学付属福岡高等学校

校長 津山 憲 司



本校同窓会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、本校は1966年に「東海大学第五高等学校」として開校し、2016年には「東海大学付属福岡高等学校」へと校名を改めましたが、その歩みは一貫して受け継がれ今日に至っております。これもひとえに、21,275名にのぼる同窓生の皆さまの変わらぬご支援と母校への熱い想いの賜物であり、心より敬意と感謝を申し上げます。

本年度、本校は創立60周年という節目を迎えることができました。学校法人東海大学においては25年ごとを節目とした記念事業が定められておりますため、今回は大規模な記念式典の実施はございませんが、同窓生の皆さまにとりまして大変喜ばしいご報告がございます。

かねてより計画しておりました新校舎建設が、いよいよ具体的に動き出すこととなりました。現校舎は築60年を経て老朽化が進み、教育環境の整備が急務となっておりますが、熊本地震による阿蘇キャンパスの被害やコロナ禍の影響などもあり、計画は長らく停滞しておりました。現在は施工業者との最終調整段階にあり、本年9月の着工を予定しております。2028年2月頃の完成、ならびに同年4月からの新校舎での教育活動開始を目指しております。

新校舎完成の折には、ぜひ同窓生の皆さまにもご来校いただき、新たな学びの場をご覧いただくとともに、これまで親しんでこられた校舎にも足を運んでいただき、思い出を振り返る機会としていただければ幸いです。

最後になりましたが、日頃より同窓会の皆さまには物心両面にわたるご支援を賜り、部活動へのご助力や学校行事へのご参加など、多大なるご尽力を頂戴しておりますことに、改めて厚く御礼申し上げます。

本校は、校名や校舎が新たな姿へと変わろうとも、東海大学の建学の精神を礎とした教育の本質は変わることなく、これからも時代に即した人材の育成に尽力してまいります。

本校同窓会のさらなるご発展と、会員の皆さまのますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

〔学校の活動状況報告は次頁へと続きます〕

《部会（支部）活動のススメ》

会員相互の交流を深めるため、会員同士の交流活動を支援しています。簡単に言えば遠路等にお住いの会員同士の支部活動です。ただし、あまり堅苦しく考えるのではなく、会員同士3人以上が集まる会合から登録可能。条件は、発起人から同窓会に企画を提案し承認されれば、名簿の提供をはじめHPの部会（支部）コーナーにアップし中間の募集を進め、集まり拡大していこうとする取組。いわゆる発掘事業です。同窓会の承認を得れば、予算の範囲内で金銭的支援（通信費用等の総務的経費）を行っています。これまで野球部OB会、柔道部OB会、学年同窓会等が登録し活動を続けています。詳しくはHP内「部会（支部）コーナー」をご覧ください。なお、連絡はHPのお問い合わせコーナーメールにて。

祝・母校は今年で創立60周年

～私たちの学び舎が衣替え

新しい校舎がおめみえします!!～

東海大福岡NEWS (2026年度版)

いよいよ、新校舎建設スタート(2026年9月工事開始予定~2028年2月完成予定)



完成イメージ(東海坂からの眺望)



完成イメージ(付属自由ヶ丘幼稚園側からの眺望)

1966年に開校した本校も今年で創立60周年となります。
これまで築いていただいた素晴らしい伝統を引き継ぎ、東海大福岡は今後もあらゆる改革を推し進めます！
「いっげ、東海！！」 応援よろしくお願ひいたします。



スポーツフェスティバル(10月開催)



カレーチャレンジ



スーパー特進：激励クリスマス会

